

# 龍谷の教育

No.151

2019.Summer



〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



## 奇跡をもたらすもの

くもなき人々の善意と行動力



副校長

陣内 陽子

20年以上も前になるが、頭から離れない

い光景がある。述べ27万人の、それぞれ、名もなきボランティアの方々による不可能を可能にした重油回収作業の様子である。1997年1月2日未明、ロシア船舶の古いタンカー「ナホトカ号」は中国・上海からロシア、ペトロハバロフスク港に向け、重油約19、000klを輸送する途中であった。日本海の厳しい荒波によって「ナホトカ号」は破損し、船尾部はその場で沈没した。船頭部は半没状態で周囲に重油をまき散らしながら漂流を続けた。事故から5日後の1月7日、福井県の海岸付近に漂着。海上に流出した約6、240klの重油は冷風と荒波により、ムース化して固形物に近い状態となり、日本海沿岸の島根県から秋田県に及ぶ府県の海岸述べ1、000kmにわたり汚染が広がった。この大惨事を目の当たりにして全国から集結したボランティアの方々。彼らは肌をさす寒風のなか、しかも機械を用いることが困難な岩場が多いなか、何カ月もの間、黙々と手作業で重油回収に取り組んだのである。この事故がきっかけとなって日本に災

害ボランティアが根付いたと言われている。

最近知ったことだが、東日本大震災で壊滅的に倒壊したある醤油工場が復活をなすとげたという。この醤油工場は200年間、もろみを醸しての醤油づくりで味には定評があった。しかし、大震災で醤油づくりに必要なものすべてが海に流されてしまった。研究用として生き残っていた酵母が発見されたが、わずか4トン。それでも工場再建の光が見えた。しかしながら再建には十数億のお金が必要となる。銀行等からの融資を取り付けたのだが、まだまだ足りない。ほぼあきらめかけたとき、全国から、この醤油工場のもとにメッセージを添えた現金封筒が続々と届けられた。「あのおいしい醤油をもう一度つくってほしい」「あの味が忘れられない」など復活の願いを込めて工場に届けられたお金は、なんと総額4億円にのぼったという。名もなき人々の善意と行動力が被災地の醤油工場復活という結果をもたらしたのだ。

名もなき人々の善意と行動力、それが、SDGでいうところの「50センチのチェンジ・メーカー」になることにつながるのである。私たちの善意と行動力には「未来を変える力」があるのだと思う。

法事や法要の後にいされる食事を「お斎(とき)」と言います。私は僧侶としてこの「お斎」を多くいたしてきました。「お斎」と言えば「精進料理」が定番なのですが、今ではほとんど出される場所がありません。料理人の手間ひまから生まれる「精進料理」は、仕出し屋でもつくるのを断られるところが多くなっているのと、頼む方も費用がかかるので、躊躇してしまうのが一番の理由だと思えます。しかし、最近、肉や魚を使わず、四季折々の旬の食材を活かして調理される「精進料理」は見直されてきています。

6世紀、仏教とともに中国から日本に伝わった「精進料理」は、もともとは修行僧のための食事だったと言われています。その「精進料理」が今、和食文化への関心の高まりとともに、世界の多くの国々からも健康食として注目を集めています。

私は毎年、御正忌報恩講の一週間を「精進料理」で過ごします。その時「精進料理」を、食、することで、普段知らずに多くの生き物の命を、食、していることに気づきます。また、日々の生活のなかで、食、することは当たり前前となってしまい、つい感謝の心を忘れがちになってしまう自分にも気づ

## 同朋

きます。私にとって精進料理を、食、するこの一週間は、とても大切な日々なのです。

本校では各教室に「食事の言葉」が添付されています。そこには「多くのいのち・・・」と明記されています。それは私たちの食事は多くの「いのち」をいただいているという事実を深く見つめるため、現代社会では、「いただきます」ということをあまり耳にしないようになったのではないということへの反省でもあります。

他の宗派でも、宗師の教えにない、食前・食後に食事に対する感謝の気持ちや心構えについて説かれた言葉を唱和します。その精神は「いただきます」と手を合わせる習慣として今まで根づいてきました。折角根づいたこの習慣を、私たちは決して失わないようにしなければなりません。そのためにも皆さんと一緒に「多くのいのち・・・深くご恩を喜びありがとうございました。」(文責 加々良)





## 笑顔はじける一日

4月26日(金)、全校生徒対象の遠足・バスハイクを行いました。友達や先生との親睦を深める目的で毎年4月に行っています。1・2年生は徒歩で大和町にある石井縄公園に、3年生はバスで熊本県荒尾市のグリーンランドに行き、それぞれ楽しいひとときを過ごしました。

3年生はジェットコースターやお化け屋敷など様々なアトラクションに歓声をあげながら、次々に楽しんでいました。天候にも恵まれ、若い笑顔はじける一日となりました。(文責 吉田)

## 遠足・バス・ハイク

ちょっとひと休み…

### 間違いさがし



2枚の写真を見比べて、変化している部分を探してみてください。

答えがわかった人は生徒会役員まで！(協力：生徒会役員一同)



(文責 平井)

### 創立記念式典 (宗祖降誕会)

5月21日(火)、本校の創立記念式典(宗祖降誕会)が、体育館にて執り行われました。本校は親鸞聖人のみ教え、仏教精神が「建学の精神」であり、親鸞聖人のご誕生が学校創立の根本にあるということから、宗祖降誕会を合わせて行っています。

聖歌隊(吹奏楽部)による音楽法要のあと、記念講演が行われました。今年度のご講師は岐阜聖徳学園大学講師の水木節男さんをお招きして、「これまでも、これからの決める」という演題でお話をいただきました。身近な例をたくさん用いて、人間の本質を的確に突くような、とても参考になる内容でした。途中ではマジックなどを取り入れ、生徒は感心しながら集中して聴いていました。



### 宗祖降誕音楽法要

京都・西本願寺にて

5月20日(21日)、親鸞聖人のご誕生を祝う「宗祖降誕音楽法要」が西本願寺で行われ、吹奏楽部の生徒が式典の聖歌隊として参加しました。

生徒たちはこのような盛大な式典に参加することが初めてだったためか、少し緊張した様子でしたが、これまでの練習の成果を発揮して式典を大いに盛り上げてくれました。

生徒たちにとって、宗祖降誕会という特別な日に聖歌隊の一員として歌ったことは、これからの高校生活においても貴重な経験となったと思います。

(文責 小杭)

# 龍谷、ラジオやっています！

～スマイル・ダイアリー～



「スマイル・ダイアリー！」

「みなさん、こんにちは。」

「毎週水曜日のこの時間にお送りしている『スマイル・ダイアリー』。学校法人佐賀龍谷学園の生徒、私たちが笑顔あふれる学校生活やさまざまな出来事を日記を綴るように情報発信する番組です。」

毎週水曜日の午後6時になると、ラジオから龍谷生の元気な声が聞こえてきます。なんと龍谷高校生が中心となって情報発信するラジオのレギュラー番組なのです！出演する高校生は毎回変わるので、トークテーマもさまざま。爆笑必至！な回も…。

佐賀市内を中心に地域に根ざした放送を行っているコミュニティ放送局の「えびすFM」。2012年に開局し、「市民参加、地域密着、防災・災害放送」を目的として、一人ひとりの“想い”をつなぎ、“ひとを元気に”“まちを元気に”するFMラジオ局として地元で愛されています。



佐賀龍谷学園は、佐賀という地域に密着し、学生・生徒が自ら企画し、意見を交わし、自分たちの声で情報を発信するという活動に挑戦する場所の一つとして、今年の1月9日より「えびすFM」で活動（放送）を始めました。

ラジオ番組に出演するってどんな気持ちなのでしょう？実際に出演した崎田華奈美さん（③佐大付属）と中原理絵さん（③千代田）にインタビューしてみました。

—「スマイル・ダイアリー」開始から、半年が経過しました。お二人は数度番組に出演していますが、きっかけは何だったのでしょうか？

崎田：私は放送部だったので、出てみない？と声をかけられました。もともと興味があることだし、やってみようと思って。

中原：私は学年で募集がかけられたときに、面白そうだと思って出てみよう。

—出演に際して大変なことってなんですか？

崎田：アドリブで話さないといけないことでしょうか。もちろん台本はあるんですが、急な質問も少なくないので、とっさにうまく答えられないことがあります。

中原：私はニュースを読み上げることに苦労しています。慣れないのでかみかみになっちゃいます。

—逆に、嬉しいことや楽しいことは？

中原：やっぱり感想をもらえたときは嬉しかったです。番組を通していろいろな人と「つながる」ことができてるんだと感じました。

崎田：放送部で台本を書いたことがあるんですが、そのときは1から自分たちだけで番組を作り上げている感じがあって本当に楽しかったです。難しいかもしれませんが、機会があれば全部自分たちでやってみたいですね。



—番組出演をとおして、得たものはありますか？

中原：将来の参考になっていると思います。実際の仕事の現場に触れさせてもらっているので、自分がどう生きていくのか、深く考えるきっかけになっています。

崎田：準備の段階でうちあわせをしたり、調整をしたり、大人の人たちと接する機会が多いので、以前よりコミュニケーション能力がつけました。以前より臨機応変に対応する力もついたと思います。

放送がスタートして、まだ半年。この放送を通じて学生・生徒諸君が「自ら挑戦」し、いろいろな「アイデア」を出し合い、少しばかりの「達成感」を感じ取ってくれることを楽しみにしています。みなさん、是非、聴いてみてください。



★スマイル・ダイアリー

【ON AIR】毎週水曜日

18：00～18：55(生放送)

★えびすFM 89.6MHz

<http://www.ebisufm.com>

【放送エリア】

佐賀市と周辺地域。専用無料アプリをダウンロードすれば、日本中、世界中で聴くことができます。

佐賀龍谷学園はサガン鳥栖を応援します

# 龍谷にスターがやってきました!!



6月5日(水)、サガン鳥栖より8名のサッカー選手が龍谷高校にいらっしゃいました。突然のスターの訪問に生徒たちは色めきだった様子でした。高橋祐治選手、チョドンゴン選手が訪れた1年1組の生徒たちは、緊張しながらもとても嬉しそうで、大きな拍手と共に両選手を迎えました。サッカー部員をはじめ、生徒からは矢継ぎ早に質問があがりましたが、両選手はユーモアを交えながら真摯にお答えくださいました。夢に向かう途中、うまくいかなかったとき、挫折をしたときはどうしましたかという問いに、高橋祐治選手は腐らずに努力を続けることだと、チョドンゴン選手は自分にはできると信じてやり続けることだと語られました。これから夢にはばたく生徒たちにとって、たいへん貴重な時間になったことと思われます。



(文責 石橋)



特進科2年の牟田有之介さん(②昭栄)は、4月に行われた第14回佐賀県高等学校将棋選手権大会で見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。牟田さんは高校生では県内に敵なしと言われるほどの実力者。そんな彼に、突撃取材してみました。

牟田…全国大会出場、おめでとうございませう! どんな気持ちですか?

牟田…ありがたいございませう。今回は高校生だけの大会だったので優勝できましたが、将棋は年代の違う相手とあたる大会も多くあります。この結果に満足せず、年上の相手と対局するときや、全国大会などでも良い結果が残せるようになりたいと思っております。

対局中は、どんなことを考えているのですか?

牟田…相手の打った手への対策を常に考えています。基本的に20〜40手ほど先をよんで対局しますが、その中で最善の手を探します。

将棋のどんなところに魅力を感じますか?

牟田…実力のある相手と対局して、倒した時の快感は最高です。そのために必死に努力しています。全国大会でもそんな経験をしたいです。

最後に一言、お願いします!

牟田…今年の全国大会は佐賀県で開催ということもあり、優勝を目指します。応援よろしくおねがいします。

牟田さん、全国大会でもがんばれ!!

がんばっているね! 牟田有之介さん 将棋で全国へ!

(文責 吉田)

## かまたみのる 鎌田 實先生が龍谷に!

～文化講演会「生きているって素晴らしい」～

6月13日(木)、本校体育館にて、佐賀新聞社主催の文化講演会が行われました。講師は難民キャンプに多くの診療所を作ったり、チェルノブイリ原発事故後、現地に多くの医師団を派遣したりと世界的にご活躍されている、医師の鎌田實先生です。「生きているって素晴らしい」という演目で、自身の生い立ちやこれまでの活動、生きるということについて、高校生にもわかりやすく、語りかけるように話してくださいました。なお、鎌田先生よりご自身の著書を約百冊本校の図書館に寄贈していただきました。ぜひ図書館にきて、鎌田先生の生き方について学んでみてください。

(文責 吉田)



## 大人への第一歩 第一印象、大事です

～ビジネスマナー講習会～



5月18日(土)、本校1・2年生対象にビジネスマナー講習会を行いました。学生対象のキャリア教育を専門に取り組んでいるNPO法人麗羅塾(ほうすうじゅく)から講師をお招きし、第一印象の大切さや身だしなみを整えることの重要性などについて学びました。「人の印象は6・7秒で決まる」という講師の方のお話に、生徒たちは驚いたり納得したりしながらマナーの大切さを楽しく学んでいました。(文責 吉田)

部活秘ニコリ

テニス

◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会テニス競技(5月31日～6月3日 鹿島北公園庭球場・森林公園庭球場)

・男子団体

上流 翔瑛(③大和)  
大西 庸介(②城北)  
徳久 正之(②城北)  
笠岡 昌平(②佐大附属)  
重松史祐輝(②横浜博町)

ベスト8

剣道

◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会剣道競技(5月31日～6月1日 諸富文化体育館)

・男子団体

興賀田湧作(③白石)  
白武 恵人(③白石)  
片岡 秀斗(③白石)  
中村 悠斗(③北)

3位

信貴 錬(③京都・久御山)  
三宅 涼介(②愛知・伊勢山)  
川崎将太郎(②昭栄)

・男子個人

3位 三宅 涼介(②愛知・伊勢山)

ベスト8 白武 恵人(③白石) 九州大会出場  
女子個人 九州大会出場

3位 橋本 真奈(②龍谷) 九州大会出場

柔道

◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会柔道競技(5月31日～6月1日 基山町総合体育館)

・個人戦60kg級

3位 野崎 大靖(①三日月)

・個人戦90kg級

3位 加藤 佑弥(③有田)

弓道

◇佐賀県高校総体(5月31日～6月2日 佐賀県総合体育館弓道場)

・女子個人

3位 佐藤菜美紀(③牛津) 九州大会出場

自転車

◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会自転車競技(6月1日～2日 武雄競輪場)

総合1位



男子バドミントン

◇令和元年度第57回佐賀県高等学校総合体育大会バドミントン競技(5月31日～6月2日 佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」)

2回戦敗退

龍谷 3-1 神埼清明高校  
龍谷 0-3 唐津南高校

女子バドミントン

◇令和元年度第57回佐賀県高等学校総合体育大会バドミントン競技(5月31日～6月2日 旭学園体育館・旭学園第2体育館)

2回戦敗退

龍谷 3-1 唐津工業高校  
龍谷 0-3 佐賀女子高校

女子バスケットボール

◇令和元年度第57回佐賀県高等学校総合体育大会バスケットボール競技(5月31日～6月3日 唐津南高校体育館)

1回戦敗退

龍谷 31-74 佐賀西高校

男子バレー

◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会バレーボール競技(5月31日～6月2日 佐賀西高校体育館)

1回戦敗退

龍谷 0-2 有田工業高校

山道 聖人(②城北)  
鶴田 智紀(②城南)  
菟田 哲太(②有明)  
山中 紀聡(①江北)  
磯野 匠(①鳥栖西)  
谷口 敬直(①龍谷)

女子バレー

◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会バレーボール競技(5月31日～6月2日 致遠館高校体育館)

1回戦敗退

龍谷 0-12 多久高校

深川 望海(③成章)  
森 愛美(③中原)  
藤瀬 怜那(③昭栄)  
日高 麗奈(②城北)  
大渡 由菜(②城西)  
宮崎 叶術(①恵香館)

- 空手道**
- ◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会空手道競技(6月1日 佐賀県高等学校体育館)
- ・男子団体組手
- 優 金嶽 泰暉 (③城 北)  
 勝 古賀 大喜 (③城 東)  
 木原 拓己 (③多 良)  
 浦霧 証知 (③龍 谷)  
 吉田 大俊 (①城 北)
- ・男子個人組手
- 3位 浦霧 証知 (③龍 谷)  
 3位 古賀 大喜 (③城 東)  
 3位 男子個人形 拓己 (③多 良)  
 3位 木原 吉田 大俊 (①城 北)  
 女子個人組手
- 3位 村田 紅葉 (②肥 前)  
 2位 女子個人形 村田 紅葉 (②肥 前)
- ・スプリント
- 1位 甲斐 隼人 (③伊万里)  
 2位 中村 亮太 (③土浦六)  
 ・1kmタイム・トライアル
- 1位 中村 亮太 (③土浦六) 1分12秒06  
 2位 甲斐 隼人 (③伊万里) 1分12秒32  
 3位 藤松 晴人 (②昭 栄) 1分13秒51
- ・ケイリン
- 1位 甲斐 隼人 (③伊万里)  
 3位 藤松 晴人 (②昭 栄)  
 ・3kmインデIVIDUALタイムトライアル
- 1位 甲斐 隼人 (③伊万里) 3分51秒47  
 2位 藤松 晴人 (②昭 栄) 3分55秒50  
 3位 牧瀬 治貴 (②牛 津) 3分58秒43
- ・4km速度競争
- 1位 甲斐 隼人 (③伊万里) 5分17秒26  
 2位 藤松 晴人 (②昭 栄)  
 3位 牧瀬 治貴 (②牛 津)
- ・スクラッチ
- 1位 甲斐 隼人 (③伊万里) 8分03秒70  
 2位 藤松 晴人 (②昭 栄)
- ・ポイントレース
- 1位 甲斐 隼人 (③伊万里) 13分13秒08  
 2位 藤松 晴人 (②昭 栄)  
 3位 中村 亮太 (③土浦六)
- ・チームスプリント
- 1位 甲斐・中村・藤松 1分26秒50  
 ・チームバースユート
- 1位 甲斐・中村・藤松・牧瀬 4分57秒64



流した汗と涙はきつと

**陸上**

- ◇令和元年度佐賀県高等学校総合体育大会陸上競技(5月31日～6月1日 鹿島市営陸上競技場)
- ・砲丸投げ
- 優 勝 島津 克博 (③金 泉) 12 m 17  
 優 勝 川久保賢斗 (①小 城) 4 m 00
- ・棒高跳び
- 優 勝 川久保賢斗 (①小 城) 4 m 00  
 4位 八並 華捺 (③城 東) 59 35
- ・4×400mR
- 4分33秒94
- 3位 藤崎 八並 伊藤 安武 九州大会出場  
 ・4×100mR
- 九州大会出場
- 4位 下平 八並 藤崎 永松 九州大会出場  
 49 83  
 5位 永瀧 岩松 立山 藤原 42 80
- ・やり投げ
- 6位 西山 甲城 (③城 北) 51 m 06 九州大会出場  
 ・110mH
- 九州大会出場
- 6位 永瀧 豊人 (①鹿島西部) 17 17 九州大会出場  
 ・走り高跳び
- 九州大会出場
- 6位 安武 遥夏 (③白 石) 1 m 45 九州大会出場  
 ・200m
- 九州大会出場
- 6位 八並 華捺 (③城 東) 26 51 九州大会出場
- 7位 藤原 壮吾 (③相 知) 22 57
- ・走り高跳び
- 7位 小野 光機 (①福 富) 1 m 70
- ・8種混成
- 7位 小野 颯太 (①福 富) 3 8 3 6 点
- ・やり投げ
- 8位 島津 克博 (③金 泉) 47 m 85  
 8位 森 若菜 (②城 南) 30 m 37
- ◇令和元年度全九州高等学校総合体育大会陸上競技北九州地区予選会(6月13日～16日 トランスコスモスタジアム長崎)
- ・砲丸投げ
- 10位 島津 克博 (③金 泉) 12 m 69  
 ・棒高跳び
- 11位 川久保賢斗 (①小 城) 3 m 80
- ・やり投げ
- 17位 西山 甲城 (③城 北) 51 m 04



総体杜行会

# 体験・発見・次への挑戦

龍谷中学校 全生徒が全力で活躍

中学校

## 笑顔いっぱい、ヒマワリ植える

〜龍谷こども園とのふれあい体験〜

5月27日（月）、中学3年生は龍谷こども園の園児と一緒に佐賀市内の佐賀県立博物館北側でヒマワリの苗約400株を植えました。

県立佐賀城公園が取り組んでいる「花いっぱい運動」に参加したもので、生徒と園児がペアを組み、花壇の土をスコップで掘ったり、苗に土をかふせたりしました。園児との活動に、初めは緊張していた生徒諸君も園児たちの明るく、元気な姿にふれ、逆にパワーをもらっていました。



「早く大きくなってね、」

「虫がいたよ」など園児たちとのふれあいを通して、生徒諸君はお兄さん、お姉さんとしての責任や言葉かけの大切さを感じ取る貴重な体験となりました。

植えたヒマワリは6月下旬から7月初旬ごろに見頃を迎えるとのこと。

きれいな満開のヒマワリが咲くことが待ち遠しいです。



## 「身近なことからできる」未来への取り組み

〜SDGs講演会・ワークショップ〜

5月18日（土）、NPO法人「地球市民の会」主催のSDGの講演会・ワークショップに中学校生徒会役員11名、高校生徒会役員5名が参加しました。

大人と一緒にグループ活動を行い、SDGsの17項目の優先順位を決めたり、2030年に向けてのキーワードを考えてみたりしながら、議論を重ねました。

中学生が中心となって議論を進める場面も多くみられ、「自分たちも未来を変えることができる」、「未来のために何ができるのか」などを真剣に考え、意見を述べる姿は、まさに世界を変える「チェンジメーカー」そのものでした。

3年生の豊増志穂さん（旭小）は、「SDGをテーマとして、大人の方と話し合う機会は初めてでとてもためになった。多くの若者が行動を起こしていることを聞いて刺激を受けました。」と感想を述べていました。

## 親子でインターネットの上手な使い方を学ぶ

〜情報モラル講演会〜

5月18日（土）、中学生・保護者を対象とした「情報モラル講演会」が行われました。

KCS福岡情報専門学校青木幸子さんを講師にお招きし、「インターネットの安心安全な使い方」についてご講演いただきました。

インターネット・SNSなどの危険性について、具体的な事例を紹介されながら、これから気を付けることなどを丁寧に説明していただきました。講演を聞いた生徒諸君は、「インターネットの危険性と利便性の両方を知ることができた」、「ルールを守ってスマホを使いたい」などの感想を述べていました。



# 日本文化、再発見！

〈和装教育・浴衣体験〉

6月10日(月)、日本文化に親しむ取り組みとして「和装教育」を行い、2年生が和装について学び、着付け体験をしました。



一級着付け技能士の相浦充子さんをはじめとする、佐賀県和裁士・技能士連合会会員の8名の先生が来校され、着物についての説明を受けました。生徒諸君は、きれいに着る秘訣や帯の結び方などを教わりながら、実際に浴衣に袖を通しました。

「きれいに」「かつこよく」着飾ったお互いの姿をほめ合っている様子がとても印象的で、和やかな体験となりました。



## 受賞おめでとう

第20回山口維新杯中学校剣道大会 (5月5日)

- ・男子団体 **優勝** 小川侑也 (③千代田西部)、只限匠 (③藤吉)、吉田有輝 (③明倫)、高田涼真 (③西国分)、藤巻萌 (③鍋島)、川口瑛陸 (③日新)、大塚一亜 (③豊洲北)、古川凌大 (②赤松)、内田尚希 (①篠山)
- ・女子団体 **準優勝** 土井清佳 (③西国分)、井口芽衣 (③下妻)、新田七乃葉 (③豊原)、大田梨華 (②白石)、小川かな (①千代田西部)
- ・男子個人 **最優秀賞(優勝)** 小川侑也 (③千代田西部) \*全国大会出場
- ・女子団体 **優良賞(3位)** 土井清佳 (③西国分)、井口芽衣 (③下妻)、新田七乃葉 (③豊原)



## 熱戦、親子の戦い！&親子でSDGsを学ぼう

〈親子交流会〉



6月15日(土)、保護者会主催の「親子交流会」が行われました。生徒全学年、保護者が体育館に集まり、ソフトバレーボール大会が行われました。生徒は縦割りチーム、保護者チームに分かれ、熱戦を繰り広げました。珍プレー・好プレーが続出で、その度に会場は大盛り上がりとなりました。

試合の結果は、生徒Dチーム(小早川③、西村③、廣本②、岩野②、八田②、藤戸①)が優勝しました。

その後は、各学年、教室にて「親子でSDGsを学ぼう」と題し、世界が抱えている問題について考えました。海外の同年代の人のスピーチを聴いたり、親子でクイズをしながら理解を深めるなど、



あっという間に時間が過ぎてしまいました。最後は、食堂で親子一緒に食事会を行いました。運動をした後ということもあり、生徒諸君は、おいしいカレーを何杯もおかわりしていました。準備をしてくださった方々に感謝の思いを抱きつつ、お服いっぱい食事をいただきました。

(文責 松尾)



## 2019年度 オープンキャンパス 開催予定

各日 9:00 受付 10:00 スタート

体験授業、奨学金講座（保護者対象）、学内見学ツアー、個別進学相談会のほかにも、下記の注目授業を実施します。

**7/14**

### キャリア講演「AI 時代を生きる」

(日)  
10:00～

あなたが目指す職業は、将来 AI（人工知能）が担っているかもしれません。進学の先にある就職や将来のことから、進路選択について考えてみましょう！

**8/4**

### トークイベント第3弾「先輩に聞いてみよう！」

(日)  
10:00～

5月・6月のオープンキャンパスで好評をいただいたイベントの第3弾です。先輩たちが、短大進学や進路について、どう考えていたのか聞いてみましょう！

**9/14**

### 入試直前「小論文対策講座」「志望理由書の書き方講座」

(土)  
10:00～

小論文問題や、志望理由書について、何をどのように考えて書けばいいのか、ワンポイントアドバイスとともに、一緒に考えてみましょう。

詳細の情報は、本学ホームページや、下記の LINE のほかにも進学情報サイトからご確認、お申し込みいただけます。

—リクルート【スタディサプリ 進路】本学ページ

<https://shingakunet.com/gakko/SC000749/>



### 九州龍谷短期大学のLINE公式アカウントをご存知ですか？

オープンキャンパスやガイダンスの出展情報、入試情報など様々なお知らせをお送りします。

「九州龍谷短期大学」で検索後、ぜひ「友だち追加」してください。

# 学園だより

TEL 0942・85・1121

鳥栖市

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

## 龍谷こども園

令和元年初夏の

こども園です。

私だけのや、みんなでのがいっぱい！



えのぐがいっぱい！ すごい！ (2歳児)



↑大好きな水と土で「お団子」を作りました。「ト」で「しょう」 (3歳児)



かきかきとらひのり (0歳児)

ゼリーをさわったよ ブニュ！ ブニュ！ (1歳児)



気合を入れてよさこい踊りはじまりました。(5歳児)



はっつ！



みんなで植えた野菜たちが実をつけはじめました！ (4歳児)